

幻の高級魚シロアマダイの稚魚 海響館で展示

現在、市立しものせき水族館「海響館」では全国の水族館でも生きた姿はめったに見られない魚、シロアマダイの稚魚が展示されています。シロアマダイは一般的に流通しているアマダイの仲間と比べても極端に水揚げ量が少なく、生態も詳しく知られていない種です。泳いでいるシロアマダイの稚魚をなかなか見ることはないと思われますので、この機会に是非ご覧になってはいかがでしょうか。

○場所

海響館 2 階 A-5 スタッフイチオシいきもの展 とれとれタンク

○種類

シロアマダイ *Branchiostegus albus*

水深 50～100m 程度の砂泥域に生息するアマダイの仲間。アマダイの仲間の中で最も大型となる種で、味とその希少性から市場ではキロ単価 3～5 万円で取引されることもある高級魚です。

山口県では漁業者の所得向上につながるよう、シロアマダイの資源増大に向けた取り組みを進めており、2019 年に全国で初めて稚魚の大量生産に成功しました。展示個体は、山口県水産研究センターと公益社団法人山口県栽培漁業公社が水産庁委託事業「さけ・ます等栽培対象資源対策事業」により生産した個体を譲渡したものです。

※生物の状態により、展示を中止する場合があります。

※海響館の入館には料金が必要です。

海響館ホームページ <https://www.kaikyokan.com/>

